

戦 評

大会名	令和7年度第55回東北中学校バレーボール大会
-----	------------------------

男子決勝

会場；花巻市総合体育館

主審；吉田 茂樹

副審；比嘉 晴野

金ヶ崎 2 { 25-15
25-21 } 0 下小路

試合時間 0 時間 49 分

戦 評

岩手の第1、第2代表の対決となった決勝戦。第1セット序盤、金ヶ崎は1番若狭のスパイクやブロックが決まり、大きくリードする。対する下小路は中盤以降3番池田のバックアタックや巧みなブロックアウトで追撃する。しかし、6番佐々木のトスワークからの攻撃が冴えた金ヶ崎がセットを先取する。

第2セットはサイドアウトの連続で1点を争う好ゲームとなった。下小路は5番後藤の安定したレセプションから6番伊藤(瑛)の強打、2番藤原、4番伊藤(怜)の速攻やブロックが決まる。しかし金ヶ崎のリベロ11番那須川、12番角掛の安定したディフェンスが流れを渡さない。金ヶ崎は競り合うも相手に一度もリードを許すことなく、最後は3番大石が連続でスパイクを決めて勝利し、連覇を達成した。

7～10行にまとめること

戦評者 手島 瑞夫

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会

戦 評

大会名	令和7年度第55回東北中学校バレーボール大会
-----	------------------------

女子決勝

会場；花巻市総合体育館

主審； 及川 晃弘

副審； 小野 皓平

古川学園 2 { 25-20
24-26
25-19 } 1 大槻

試合時間 1 時間 18 分

戦 評

女子決勝戦は宮城第1代表の古川学園と、2年連続決勝進出の福島第1代表の大槻の初優勝をかけた対戦となった。第1セット、一進一退の展開が続くが、古川学園は4番モンデシ、1番飯田のスパイクなどで抜け出す。対する大槻は4番長沢にボールを集めるが、点差を詰め切れず、最後は古川学園4番モンデシのブロックが決まりセットを先取した。

第2セット、大槻は4番長沢のスパイクなどで最大7点をリードする。一方、古川学園は粘り強く点を重ね追いすがり、デュースにもつれ込む。しかし終始リードを保った大槻がセットを奪い返す。

最終セット、拮抗した状態が続く、大槻が3点リードでセットを折り返す。追いかける古川学園は7番星川のスパイク、2番澤口のブロックなどで逆転する。大槻は2番熊田のブロックやスパイクで巻き返しを図るも勢いは変わらず、古川学園が初優勝に輝いた。

7～10行にまとめること

戦評者 北田 善吾

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会